

別記

第1号様式（第5条関係）

記入例

通常申請・一部早期2回目

京都府奨学のための給付金申請書

令和7年 7月 1日

京都府知事 様

京都府奨学のための給付金支給要綱に基づき、給付金の受給を申請します。
次の5点を確認の上、□にレ印を記入してください。

申請書を記入した日付

<input checked="" type="checkbox"/>	この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
<input checked="" type="checkbox"/>	この申請書に虚偽の記載があった場合は、京都府の求めに従いその全額を即時返還します。
<input checked="" type="checkbox"/>	私は、京都府以外の都道府県に奨学のための給付金の申請を行っていません。
<input checked="" type="checkbox"/>	この申請の対象となる高校生等（母子生活支援施設に入所している者を除く。）は、「児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について」に基づく措置費のうち、見学旅行費又は特別育成費のいずれについても支弁対象者となっていません。
<input checked="" type="checkbox"/>	京都府奨学のための給付金支給要綱第1条に規定する給付金（以下「給付金」という。）と次に掲げる同種の資金との併給調整に当たり、給付金の申請書及び添付書類に含まれる個人情報、知事が当該個人情報の利用目的以外の目的で利用し、又は京都府教育委員会に提供することに同意します。 (1) 京都府高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金の貸与に関する条例（昭和50年京都府条例第10号）第2条に規定する修学奨励金 (2) 京都府高等学校の修学金 (3) 交通遺児奨学金 (4) 母子家庭奨学金 (5) 京都府高校生給付型奨学金等支給要綱（昭和51年京都府告示第174号）第1に規定する奨学金等 ※ 高校生等が成年の場合は、当該高校生等の署名が必要です。

3号に規定す

高校生等の署名

高校生等が令和7年7月1日時点で18歳以上の場合には、
高校生等の署名が必要です。

1 申請者に関する事項

フリガナ	キョウト タロウ	申請者住所	〒602-8570
申請者氏名	京都 太郎	申請者住所	京都府京都市上京区下立売通新町西入 藪ノ内町 ○番地○
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）		
連絡先電話番号	○○○-○○○-○○○○		

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

2 高校生等に関する事項

フリガナ	キョウト イチロウ	生年月日	平成○○年 ○月 ○日
氏名	京都 一郎	生年月日	平成○○年 ○月 ○日
在学する学校	所在地	京都 都道府県 京都市上京 市区町村	課程 <input checked="" type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科
	学校の名称	国公立 ○○高等学校	学年等 1年 ○組 ○番
	在学期間	令和7年 4月 1日 ~ 在学中	在学中に給付金を受給した回数 なし <input checked="" type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/>
前籍校（高等学校等）における在学期間	国公立 私立	年 月 日 ~	在学中に給付金を受給した回数 なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/>
	過去に本給付金を受給した回数にレ点を記入してください。 分からない場合は「不明」にレ点を記入してください。		在学中に給付金を受給した回数 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/>

★生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給している世帯の場合

3 保護者等に関する事項

高校生等の保護者等全員（申請者を含む。）について記入してください。

フリガナ	キョウト タロウ	住所	〒
氏名	京都 太郎		
高校生等との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人・その他（ ）		
フリガナ	キョウト ハナコ	住所	〒
氏名	京都 花子		
高校生等との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人・その他（ ）		

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

保護者等の住所が京都府外である場合、その理由を記入してください。

4 保護者等（専攻科の場合は生計維持者）の所得の状況等に関する確認について

提出する証明書等について、(1) から (3) までの当てはまる□にレ印を付けてください。

- (1) 申請年度の7月1日において生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を受給していることが分かる証明書を提出します。

(2)

・令和7年7月1日時点で、生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給している場合、(1)にチェックし、生業扶助を受給していることが分かる生活保護受給証明書を添付してください。

※生活保護を受けている世帯でも、「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給していない場合には(2)にチェックが必要です。

※生活保護を受けている方で、「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給しているか不明な場合は、お住まいの地域の市役所、町村役場又は府保健所にお問い合わせください。

このページで他に記入いただく箇所はありません。

**★生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給しておらず、
道府県民税及び市町村民税の所得割額が非課税である世帯の場合**

3 保護者等に関する事項

高校生等の保護者等全員（申請者を含む。）について記入してください。

フリガナ	キョウト タロウ	住所	〒
氏名	京都 太郎		
高校生等との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者住所と同じであるため、記入を省略します。 <input type="checkbox"/> 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人・その他（ ）		
フリガナ	キョウト ハナコ	住所	〒
氏名	京都 花子		
高校生等との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者住所と同じであるため、記入を省略します。 <input type="checkbox"/> 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人・その他（ ）		

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

保護者等の住所が京都府外である場合、その理由を記入してください。

4 保護者等（専攻科の場合は生計維持者）の所得の状況等に関する確認について

(2)又は(3)の該当する□にチェックの上、令和7年度の課税証明書等を提出してください。
チェックを記入する箇所については、記入例の「チェック箇所確認シート」を確認してください。

(2)

①	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者（両親）2名分の課税証明書等を提出します。
	<input type="checkbox"/> 控除対象配偶者（氏名 ）である親権者の申請の前年の収入が100万円以下であり、当該年度の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が課税されていないため、もう一方の親権者1名分の課税証明書等を提出します。
②	<input type="checkbox"/> 離婚、死別等により親権者が1名であるため、親権者1名分の課税証明書等を提出します。
	<input type="checkbox"/> 親権者が2名存在するものの、事情（ドメスティックバイオレンス、養育放棄等）によりやむを得ず一方の親権者の課税証明書等を提出できないため、もう一方の親権者1名分の課税証明書等を提出します。
③	<input type="checkbox"/> 未成年後見人（ ）名分の課税証明書等を提出します。
④	<input type="checkbox"/> 高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）2名分の課税証明書等を提出します。
⑤	<input type="checkbox"/> 主たる生計維持者1名分の課税証明書等を提出します。
⑥	<input type="checkbox"/> 高校生等本人の課税証明書等を提出します。

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

(3)

<input type="checkbox"/> 所得確認の対象が未成年の高校生等本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれもない場合）であるが、道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されていないため、課税証明書等を提出しません。
--

※ (2) 及び (3) に当てはまる場合は、次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 私の世帯は、申請年度の7月1日において、生活保護法第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を受給していません。

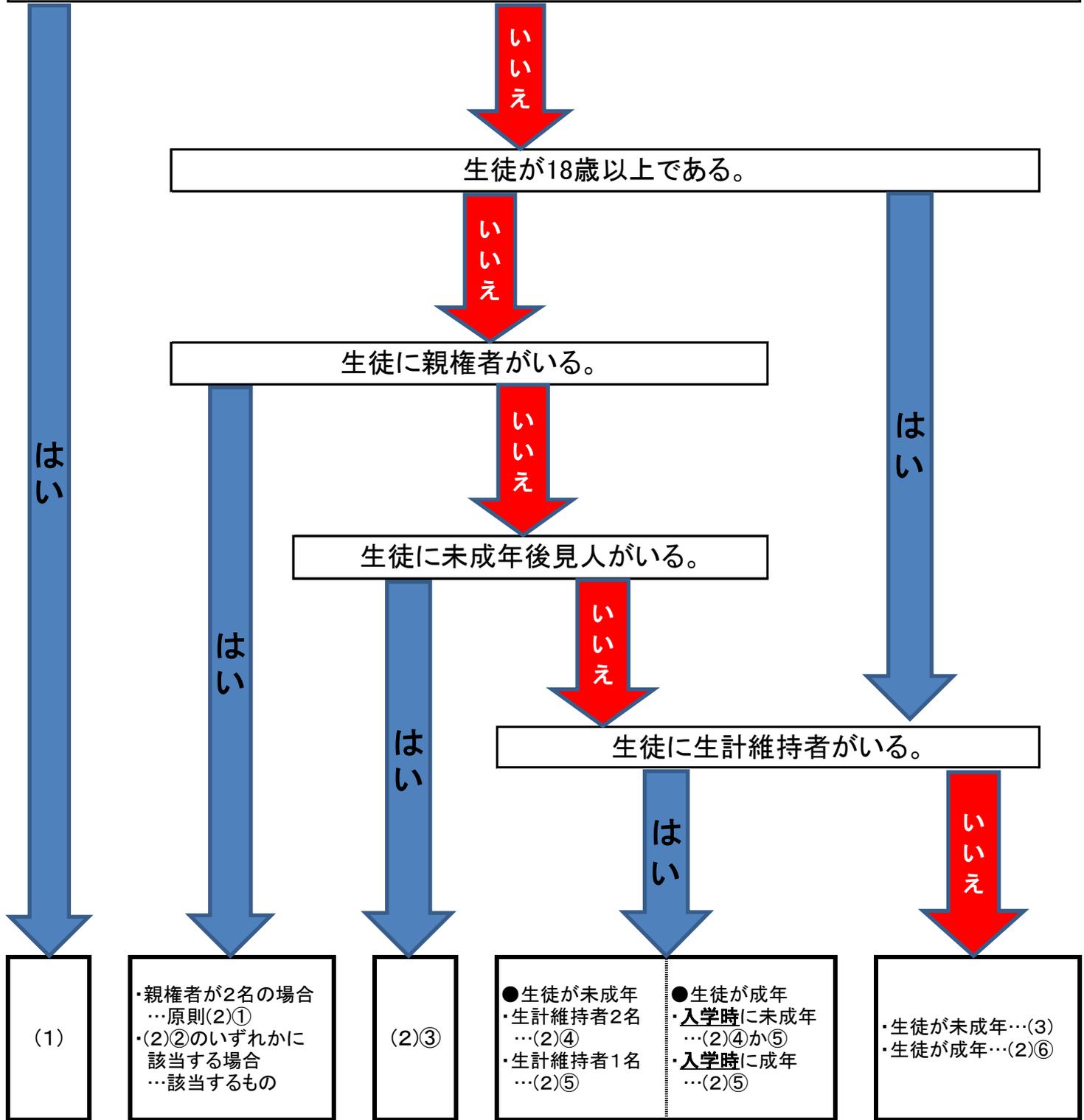
【！】必ずしてください。

申請書 項目4 チェック箇所確認シート

※必ず、令和7年7月1日時点の状況で確認してください。

※チェック箇所にかかれている書類を、申請書と一緒に提出してください。

生徒が、生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給している。



「※(2)及び(3)に当てはまる場合は…」の下のチェックも必ずつけてください。

※振込口座は、基本的に、申請者のものになります。

やむをえず申請者の口座を利用できない場合のみ、本紙を記入することで、別の口座に振り込むことができます。

令和7年 7月 1日

京都府知事 様

京都府奨学のための給付金受領委任状

振込先口座の名義人を記入してください。

私は、① _____ を代理人と定め、京都府奨学のための給付金の受領に関する一切の権限を委任します。

フリガナ	
申請者の氏名	
申請者の住所	〒 ー

フリガナ	
生徒の氏名	
フリガナ	
学校名	
課程 (あてはまるものに○をつける)	全日制・定時制・通信制・専攻科
学年等	年 組 番

全ての項目について記入してください。

※ 記入の注意

①に、振込みを希望する口座名義人の氏名を記入してください。
全ての項目に、記入してください。
間違えた場合、二重線をひき、修正してください。

本紙は高等学校専攻科に在籍する方のみ提出してください。

個人対象要件証明書（専攻科のみ）

下記の者は、令和7年7月1日（基準日）において、以下のとおりであることを証明します。

生徒氏名	(ふりがな)	キョウト	イチロウ		
	姓	京都	名	一郎	
学校名 課程・学科等名	〇〇高等学校 看護専攻科			学 年	1年

(該当する方に✓をすること)

- 以下のア～ウのいずれにも該当しません。
- 以下のア～ウのいずれかに該当します。(ア～ウのうち該当するものに○を付すこと)

ア 退学、停学（三か月以上の者に限る。）の処分を受けた者

イ 前年度における修得単位数が当校の定める当該年度の標準修得単位数の5割以下の者

ウ 前年度における出席率が5割以下の者

※ア～ウのいずれかに該当する者で、災害、疾病その他のやむを得ない事由がある場合は、以下に具体的な状況を記載すること。

よく確認して正確に記入してください。

年 月 日

学校による証明欄です。学校からの証明を貰ってください。

学校名
校長名 印

※本紙は、多子（生計維持者に扶養される子が3人以上）の世帯に属する場合のみ提出してください。

本紙は高等学校専攻科に在籍する方のみ提出してください。

令和7年 7月 1日

扶養親族申告書

京都府知事 様

生計維持者①住所	京都府京都市上京区下立売通新町西入 藪ノ内町 ○番地○
生年月日	昭和○○年 ○月 ○日
氏名	京都 太郎
生計維持者②住所	京都府京都市上京区下立売通新町西入 藪ノ内町 ○番地○
生年月日	昭和○○年 ○月 ○日
氏名	京都 花子

令和6年12月31日時点の、生計維持者①及び生計維持者②の地方税法第314条の2第1項第11号に規定する市町村民税上の控除対象扶養親族及び年齢が16歳未満の扶養親族、並びに令和7年1月1日以降に出生等により新たに扶養することになった子等について以下のとおり申告いたします。

○生計維持者①の扶養親族

	氏名	生年月日	生計維持者①との続柄
1	京都 一郎	平成○○年○月○日	長男
2	京都 二郎	平成○○年○月○日	次男
3			
4			
5			

○生計維持者②の扶養親族

	氏名	生年月日	生計維持者②との続柄
1	京都 桜子	平成○○年○月○日	長女
2			
3			
4			
5			

生徒についても、忘れず記載してください。

【記入上の注意事項】

令和6年12月31日時点の、生計維持者①と生計維持者②の市町村民税上の扶養親族（配偶者を除く）を全員記載してください。なお、生計維持者の市町村民税上の扶養親族は以下の書類等で確認ができますのでこれらを参考に記入してください。

（確認ができる書類）

- ・年末調整の令和6年分扶養控除等（異動）申告書の写し
- ・令和6年分給与所得の源泉徴収票
- ・令和6年分確定申告書の写し（扶養親族が記載されている部分） など

○令和7年1月1日以降に出生等により新たに扶養することになった子等（証明書類必須）

	氏名	生年月日
1	京都 桃子	令和7年○月○日
2		
3		

本欄に記載がある場合、以下の書類を提出してください。

【記入上の注意事項】

「出生等により新たに扶養することになった子等」とは、以下の(ア)～(ウ)のいずれかのケースに当てはまる人のことです。ケースに応じた証明書類を提出してください。

ケース	証明書類（コピー可）
(ア)生計維持者の実子	出生証明書、母子手帳、戸籍抄本 等、子の出生日及び生計維持者の氏名が記載されたもの
(イ)生計維持者に委託された里子	里親委託証明書等、委託開始日及び生計維持者の氏名が記載されたもの
(ウ)生計維持者と特別養子縁組をした特別養子	特別養子縁組の確定証明書、戸籍抄本 等、縁組した日及び生計維持者の氏名が記載されたもの